

＜ 国語 ＞ 科 学習シラバス

科 目		古典探究	学年・類型	2 年生・Ⅱ 型	単位数	3 単位	教科書	新編古典探究(東京書籍)		
学習の到達目標			言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。							
評価の観点	A 知識・技能			B 思考・判断・表現			C 主体的に学習に取り組む態度			
評価の内容	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。			古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。			生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			
評価の方法	・学習活動における発言内容や態度 ・ノート、プリント類 ・小テスト ・定期考査			・学習活動における発言内容や態度 ・小テスト ・定期考査			・学習活動への参加姿勢や態度 ・課題への取り組み状況 ・ノート、プリント類			
学期	月	単元名・小単元名		学 習 の 指 導 内 容				評 価 の 観 点		
								A	B	C
1 学期	4	○説話に親しむ 宇治拾遺物語 小野篁、広才のこと		・帝の篁への疑いの原因と、その疑いを晴らしたものが、ともに篁の学才にあることを理解する。 ・篁が「子」文字をどう読み解いたのかを通して、言葉遊びのおもしろさを読み取る。				○		○
	5	十訓抄 大江山の歌 ○随筆を読む 徒然草 丹波に出雲といふ所あり 徒然草 花は盛りに		・定頼中納言の言動と心情を読み取る。 ・小式部内侍のとった行動を読み取り、和歌に込められた思いを理解する。 ・定頼中納言が逃げた理由を読み取る。 ・主語を確認しながら、話のあらすじを読み取る。 ・文法事項、語句の意味を確認し、現代語訳する。 ・それぞれの話のおもしろさを考える。				○	○	
	6	方丈記 ゆく河の流れ		・話のあらすじを読み取る。 ・「無常を争ふさま」とはどのようなことか考える。 ・『方丈記』で描かれる「無常観」についてまとめる。				○	○	
	7	○故事と小話 呂氏春秋 知音 世説新語 断腸		・本文を正しく音読する。 ・脚注を参考にしながら本文を書き下し、現代語訳する。 ・伯牙と鍾子期との関係について考える。 ・「知音」「断腸」という故事成語の意味や使い方を確認する。				○		○
2 学期	8・9	○作り物語 竹取物語 天の羽衣 ○日記を読む 土佐日記 馬のはなむけ 土佐日記 帰京		・全文を通読し、概略を捉える。 ・天人の考え方を把握したうえで、かぐや姫の言動に注目し、その人物像について考える。 ・「朝廷」への手紙と歌に込められているかぐや姫の心情を理解する。 ・「天の羽衣」は、かぐや姫にどのような変化をもたらしたか、考える。 ・この章段に書かれている旅立ちの事情を読み取る。(手引き2) ・臆化表現、機知を感じさせる表現を指摘し、この作品の特色を考える。 ・冒頭の一文から、作者がどのような日記を書こうとしているのかを考える。 ・京に帰った作者の心情を考える。				○	○	
	10	更級日記 門出 更級日記 物語		・作者の物語への憧れについて整理する。 ・門出にあたっての作者の心情を読み取る。 ・作品全体の冒頭部分としての意味を考え、この日記の構造と主題を理解する。				○		○
	11	○中国の知恵 出藍誉		・本文を音読する。 ・句法に注意して書き下し、語彙を調べて現代語訳する。 ・「出藍の誉れ」という故事成語がこの話から生まれたことを確認し、その意味や使われ方について理解する。				○		○
	12	○史記を読む 四面楚歌 項王自刎		・句法に注意して書き下し、現代語訳する。 ・「楚歌」が項羽を驚かせた理由を把握する。 ・「力拔山兮気蓋世」の詩にうたわれた項羽の心情について考える。 ・これまでの学習を踏まえ、項羽の生き方について思ったことや考えたことをまとめる。				○	○	
3 学期	1	○三国志の世界 十八史略 死諸葛走生仲達		・本文を音読し、書き下し文にする。 ・句法に注意して現代語訳する。 ・司馬懿の心理を考える。 ・「参考」の詩を読んで、諸葛亮がどのように後世の日本人にイメージされていたかを捉える。				○		○
	2	○近世文学の世界 世間胸算用 蛸売りの八助		・「八助」の人物像と、商売の方法を読み取る。 ・「親仁」の人物像をとらえ、「親仁」の言葉の比喩の意味を考える。 ・話の結末を踏まえ、どのような教訓が込められているのか考察する。				○	○	
	3	○和歌の世界 小倉百人一首		・『小倉百人一首』の概略を理解する。 ・四八～四九ページの歌の中から好きな一首を選んで、その歌の意味や詠まれた状況について調べ、鑑賞文を書いて発表する。					○	○
学習のポイント		・教科書の本文の音読をする。内容が理解できるまで繰り返し読む。 ・ノートやプリントは確実に仕上げる。自宅で予習と復習をし、分からない箇所を質問する。 ・読む能力を高め、知識を身に付けるための努力をする。								